２０１２年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

ＪＣ伝承委員会　委員長　末田　博士

本年度、乙訓青年会議所は公益社団法人として実質初年度としてスタートしました。３３年目の年を迎えると共に、組織運営は異なりますが、先輩諸兄から脈々と伝承されてきた、明るい豊かな社会の実現という理念は、設立から変わる事はありません。私たちにはその歴史に感謝し、志を変える事なく、次代へと伝承していく責務があります。

私たちは、４０歳までの限られた時間の中で、青年期において力みなぎる個性、職業多様な青年経済人が、「奉仕、修練、友情」の三信条を通して、熱い議論を交わし、苦楽を共に活動する事で、新たな発想や友情が育まれます。その仲間とは、共に助け合い、本音で言い合える生涯の友となれると確信します。先輩諸兄より伝承された、貴重な教えや経験を未来に繋げていく為には、一人でも多くの志を同じくする仲間が必要です。我々の理念や活動に賛同する新たな仲間が、入会する事で組織が活性化され、更なる魅力のある団体になると考えます。

本年度、ＪＣ伝承委員会では入会目標を２４名と掲げ、会員の拡大活動に取り組みます。その為に、昨年度迄の引継ぎも含め、特別会員様、地域商工業への訪問を行い、青年会議所の活動内容をお伝えします。また、乙訓青年会議所が魅力ある組織である事のＰＲを、委員会メンバー一同が先頭に立って行います。２月例会では、会員拡大の必要性を理解して頂き、全メンバーが常に会員拡大への意識を高め、魅力ある組織の一員として、明るく元気な姿で情熱を持って、会員拡大に取り組む事が出来るよう開催します。そして、乙訓ＪＣ説明会では乙訓青年会議所の歴史、理念、活動を年齢に関わらず伝え、経験の異なる現役メンバーとの意見交換を行う事で、様々な気づきや学びを得て頂けるよう開催します。そして、乙訓青年会議所が魅力ある団体である事を伝え、会員拡大へと繋げていきます。また、新入会員候補者への入会に至るまでの支援サポート、入会後のサポートを行います。そして、ＦＴセミナーではＦＭメンバー全員が、青年会議所の基礎知識、青年会議所運動の意義や心得を学び、課題に取り組み協力し合い、切磋琢磨する事で友情を育みます。受講した後には、新たな仲間と共に同じ志を持ち、成長を実感出来る事を目的に開催します。そして、1 年間を通して委員会メンバー一同でまちづくり事業や青少年育成事業にも積極的に協力し連携していきます。

結びに、ＪＣ伝承委員会では、青年会議所の伝承者として自覚を持って活動して参ります。三信条を自らが経験していかなくては、伝承は出来ません。その為にまず、委員会メンバーが率先して、青年会議所運動に協力し参加する事で、経験が増し、伝承出来る事も増大します。そして、委員会を通して、知っている事と出来る事の違いを自らが経験する事で、掲げた大きな目標が達成出来ると確信します。私たちは自覚と責任感を持ち、仲間と共に魅力ある組織を創る為「楽志伝承」の精神で活動して参ります。